

皆様からの協賛を募集しています!!

「第75回全国植樹祭」の開催趣旨にご賛同いただける団体や企業等の皆様と協働・連携した開催となることを目指しております。

開催趣旨にご理解とご賛同をいただき、温かいご支援、ご協力をよろしく願います。

ご協賛いただいた企業・団体等をご紹介します



本多 静六コラム

第3話 「日本の公園の父」としての本多 静六

今回は、静六が「日本の公園の父」と呼ばれるまでに至った主な功績についてお話をします。

静六は、東京都千代田区の日比谷公園の設計を最初として、日本各地の公園の設計や改良を手がけました。その数は大小合わせて数百とも言われています。また、国立公園の創設にも力を尽くしたことから、「日本の公園の父」と呼ばれています。

静六は、自立した生活のためには健康が大切であり、自然と触れ合える公園は重要な施設だと考えました。また、公園の整備は地域経済、文化の発展にも貢献すると信じていました。公園に人を集め、地域経済や文化の発展に貢献するため、交通手段や財政面も考慮した公園設計を行いました。静六が手がけた公園は現在も存在し、人々の憩いの場となっており、いくつかの公園は観光地や景勝地としても知られています。

静六が手がけ、明治36(1903)年に開園した日比谷公園は、日本初の洋式公園として知られています。辰野金吾が当初の設計担当でしたが、静六がドイツ留学中の現地の公園の概要を話し、辰野の推薦により設計担当に任命されました。静六は公園の専門ではなかったため設計に苦労しました。ま

【協賛の種類】

- 1 資金協賛 全国植樹祭事業の実施に要する資金提供による協賛
- 2 物品協賛 全国植樹祭事業の実施に要する物品提供による協賛
- 3 その他協賛 1 及び 2 に該当しない、役務の提供等による協賛

【協賛特典】

協賛規模に応じて、式典への招待、公式HP・SNSへの協賛者名の掲載等、様々な特典でお返しさせていただきます。

【募集期間】令和7年3月まで



申請方法等について、詳しくは公式HPをご覧ください。

※令和7年1月中旬現在

ほん だ せい ろく



た、当時はほとんど知られていない洋式公園に対し、様々な不安や疑問が投げかけられました。静六は、公園が公共道徳の育成の場であることを強調し、花が盗まれないように公共心を育て、国民が花に飽きて盗む気が起きないくらい、当たり前前の存在にしてみせると答えました。また、池についても安全策を提案し、工事が始まりました。

日比谷公園には「首がナイチョウ」と呼ばれる500年の樹齢を持つイチヨウの大木があります。この木は静六が道路拡張による伐採から救い、公園内に移植させたものです。

この日比谷公園の設計と成功により、静六は公園設計者として知られることとなり、全国から多くの公園設計の依頼を受けました。

また、さいたま市にある県営大宮公園も静六が手がけた公園の一つです。静六が中心となり立案した「氷川公園改良計画」に沿って、昭和期に公園整備が進められました。現在は双輪場、野球場、サッカー場等が建設され、本多博士が構想したスポーツの殿堂とアカマツとサクラの公園として、広く埼玉県民に親しまれています。

植樹祭だより埼玉

第4号 2025.1

お問い合わせ先

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会事務局

(埼玉県 農林部 全国植樹祭推進課)

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-4306 FAX 048-830-4771

埼玉県 第75回全国植樹祭

公式HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>



公式HP



公式 X
@syokujusai_2025



公式 Instagram
@syokujusai_2025



彩の国
埼玉県



植樹祭だより埼玉

第4号 2025.1

第75回全国植樹祭の式典演出の概要が決定!

第75回全国植樹祭の式典では、「プロローグ」「大会テーマの表現」「エピローグ」の3つのアトラクションを通して、大会テーマ「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」をストーリー性豊かに演出します。埼玉県の豊かな自然や文化、森林・林業の紹介に加え、日本で最初の林学博士「本多静六氏」の思いに触れながら、映像やダンス、伝統芸能、音楽などを交えて色鮮やかに表現します。そして、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」の重要性を埼玉から全国に発信します。

開催日 令和7年5月25日(日)

主会場 秩父ミュージックパーク

サテライト会場 エミテラス所沢、深谷テラスパーク、モラージュ菖蒲

アトラクションのナビゲーターはこのお二人! 出演決定のコメントをいただきました



林家たい平さん

天皇皇后両陛下の御臨席のもと開催される全国植樹祭が、大切なふるさとである秩父で行われること、そしてこの素晴らしい舞台に出演できることをとても光栄に思います。

今回の大会のテーマは、「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」です。元気な森林を次世代につなぐお手伝いができるよう、精一杯そして明るく元気に務めさせていただきます。



朝日奈央さん

このたび、生まれ育った埼玉県で66年ぶりに開催される第75回全国植樹祭に出演させていただくことになりました。

木を植え、育て、伐って使い、新たに植えて育てる。森を守っていくには、この循環が必要なのだそうです。

大会を通じて私自身も、みなさんと一緒に森林やみどりについて多くを学び、木を使うことの大切さを伝えていきたいと思います。